

みずほCustomer Desk Report 2019/06/05号(As of 2019/06/04)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	107.92
TKY 9:00AM	108.04	1.1246	121.52	GBP/USD	1.2667
SYD-NY High	108.35	1.1277	121.78	AUD/USD	0.6970
SYD-NY Low	107.85	1.1227	121.31		
NY 5:00 PM	108.15	1.1252	121.69		
NY DOW	25,332.18	512.40	日本2年債	-0.1900	▲1.00bp
NASDAQ	7,527.12	194.10	日本10年債	-0.1100	▲2.00bp
S&P	2,803.27	58.82	米国2年債	1.8784	4.07bp
日経平均	20,408.54	▲2.34	米国5年債	1.8854	4.59bp
TOPIX	1,499.09	0.13	米国10年債	2.1202	4.65bp
シカゴ日経先物	20,725	260	独10年債	-0.2085	▲0.65bp
ロンドンFT	7,214.29	29.49	英10年債	0.9015	4.05bp
DAX	11,971.17	178.36	豪10年債	1.5005	0.70bp
ハンセン指数	26,761.52	▲132.34	USDJPY 1M Vol	7.25	▲0.10%
上海総合	2,862.28	▲27.80	USDJPY 3M Vol	7.09	0.08%
NY金	1,328.70	0.80	USDJPY 6M Vol	7.26	0.06%
WTI	53.48	0.23	USDJPY 1M 25RR	-1.75	Yen Call Over
CRB指数	175.49	0.77	EURJPY 3M Vol	7.33	▲0.05%
ドルインデックス	97.07	▲0.07	EURJPY 6M Vol	7.63	▲0.07%

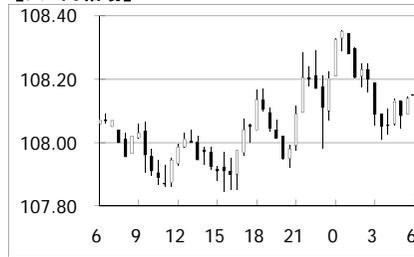
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月4日	13:30	豪 RBAキヤッシュレート	-	1.25%
	18:00	欧 失業率	4月	7.6%
	18:00	欧 コアCPI/CPI(前年比)	5月	0.8%/1.2%
	18:30	豪 ロウ豪中銀総裁 講演 「追加利下げを見込むのは不合理ではない」		0.9%/1.3%
	22:55	米 パウエルFRB議長 講演「当局は景気拡大維持で適切に行動し、貿易動向による影響を注意深く観察」		

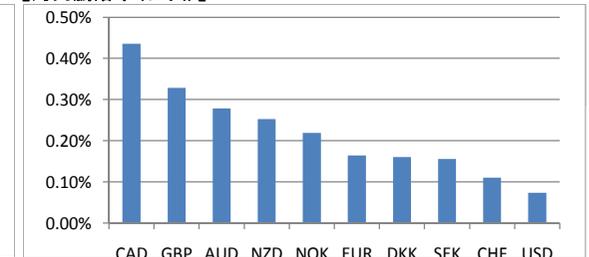
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月5日	16:55	独 マークイット(サービス業/コンボジット)PMI・確報	5月 55.0/52.4	55.0/52.4
	17:30	英 マークイット(サービス業/コンボジット)PMI	5月 50.6/51.0	50.4/50.9
	18:00	欧 PPI(前月比/前年比)	4月 0.2%/3.1%	-0.1%/2.9%
	18:00	欧 小売売上高(前月比)	4月 -0.5%	0.0%
	21:15	米 ADP雇用統計	5月 185k	275k
	22:45	米 クラリダFRB副議長 講演	-	-
	22:45	米 マークイット(サービス業/コンボジット)PMI・確報	5月 50.9/-	50.9/50.9
6月6日	03:00	米 ペーページブック	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	107.30-108.50	1.1200-1.1330	120.20-122.90

【マーケットインプレッション】

6月4日のドル円相場はドルの強弱に振られる展開となった。株の持ち直し・米長期金利の反発に後押しされドル円も108円台で底堅い展開となったが、パウエルFRB議長のハト派発言を受けた米利下げ期待などが重しとなり上値は限定的だった。ユーロは欧州株の堅調な推移に支えられ高に進行。本日のドル円はドルの下値を探る展開を予想。米中通商問題の短期的な決着が見込めないことに加え、米利下げ期待は継続しており、相場はドル売り優勢となろう。ユーロドルはドル売りの流れを受けて小幅続伸する可能性もあるが、欧州政治・財政への懸念も意識されることで大幅な上昇は期待薄か。

東京	東京時間のドル円は108.04レベルで取引開始。日経平均株価が下落する中、ドル円は107.86円まで下落するも、このレベルでは買い意欲が強く、108円台を回復。その後はじりじりと軟調推移が続き、安値107.85円まで下落。結局、107.91レベルで海外に渡った。また、豪中銀が政策金利を1.50%から1.25%まで引き下げを実施。市場の予想通りであったものの、豪ドルは荒い値動きの中で0.6970付近から0.6993まで上昇する場面も見られたが、すぐに水準まで反落した。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は107.91レベルでオープン。連日のFRB高官ハト派発言を背景に株が強含む中、円売りがやや優勢。108.17円まで上昇し、108.10レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.2680レベルでオープン。トランプ大統領が訪英、メイ首相との会談等を控えているが、特段目新しい材料は見られずドルの強弱に振られる展開。1.2643から1.2694のレンジで推移し、1.2682レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円はアジア株の下落や対ユーロのドル売りに圧迫され、一時107.85まで下落。しかし、1月10日安値(107.77)等のテクニカルな水準を控える中、買い意欲は強く、108.14まで買い戻され、108.10レベルでNYオープン。NY朝方は米金利の上昇を受けて108.29まで上昇するが、パウエルFRB議長の講演を控え、上値追いは限定的だった。パウエル議長は講演の事前原稿で「当局は景気拡大維持で適切に行動し、貿易動向による影響を注意深く観察する」と述べており、発表直後に107.98をつけるが、年内利下げを示唆するような言及がなかったためか、下落は一時的だった。その後、9月平均が350K超の水準で推移していることや米金利上昇にサポートされ、ドル買いが先行し、高値108.35をつける。しかし、世界的な貿易競争激化への懸念や米利下げ観測が高まりが意識される中、上値は重く、NY午後は108.01まで反落。NY終盤は108.10近辺で小動きとなり、108.15レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは欧州の主要株式市場が堅調に推移する中、4月18日以来の水準となる1.1277まで上昇。その後、ドルが買い戻されたことから小幅反落し、1.1252レベルでNYオープン。NY朝方は米金利上昇を背景にドル買いが進み、1.1227まで下落。その後、パウエル議長講演の原稿発表にドル売りに反応し、1.1267まで上昇するが、すぐに1.1230近辺まで反落。NY午後は米金利が低下する中、ドル売り優勢となり1.1266まで上昇。NY終盤は小幅値を戻し、1.1252レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:小笠原・田家